

授業科目(ナンバリング)	障がい者スポーツ(DB322)			担当教員	大島啓・石橋亜矢・丸山貴志・ 中村尚生・久田貴幸		
展開方法	講義・演習	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>全学共通科目「ボランティア論」と合わせて、当「障がい者スポーツ」の単位を修得することにより、「障がい者スポーツ指導員（初級）」資格を取得することができる。当科目は、障がい者の適性に応じた運動競技種目及び身体運動の実施方法並びにリハビリテーションとの関連性等について学び、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、喜びや楽しさを重視したスポーツの指導を行うとともに、地域の障がい者スポーツの振興に貢献できる人物を育成することをねらいとしている。</p>							⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力							
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	障がいに応じたスポーツの実施や、障がい者との交流を通じて、ホスピタリティの精神や相互理解を育み、障がい者スポーツの指導ができる。				・授業態度・授業への参加度 ・実技	10% 45%	
協働・課題解決力							
多様性理解力	障がい者の適性に応じた運動競技種目や、身体運動の実施方法、リハビリテーションを学ぶことを通じて、障がいによる人間の多様性について理解することができる。				・小テスト	45%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>授業態度（評価比率 10%）と小テスト（評価比率 45%）及び実技（評価比率 45%）の総評に基づいて評価する。授業態度では、障がい者スポーツとその意義や理念に共感し、関心を持っているかどうかを評価し、小テストでは、障がいによる人間の多様性を理解できているかを評価し、実技では、ホスピタリティの精神や相互理解のもとに、障がい者スポーツの指導ができているかどうかを評価対象とする。フィードバックは、小テストにコメントを付けて返却する形をとる。遅刻は厳禁。なおこの科目は、初級障がい者スポーツ指導員資格の指定科目であるので、資格を申請する上で授業全回の出席と、全学共通科目の「ボランティア論」の履修が必須である。公欠は資格申請上出席とはみなされない。またゲストスピーカーの回の授業の補講は実施されない。</p>							
授業の概要							
<p>講義 11 回、演習（実技）4 回で構成されている。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、120 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：(公財) 日本障害者スポーツ協会編『障害者スポーツ指導教本（初級・中級）＜改訂版＞』ぎょうせい（2016） 参考書：特に指定しない。 指定図書：(公財) 日本障害者スポーツ協会編『障害者スポーツ指導教本（初級・中級）＜改訂版＞』ぎょうせい（2016）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>授業の後半に演習（実技）が 4 回あり、障がいを持つ講師（ゲストスピーカー・実務家）と直接スポーツ交流ができる貴重な機会も用意されているので、講師に対して敬意を払い、授業や実技に積極的に取り組んでほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション 障がい者スポーツ施策と障がい者スポーツ その1	授業のオリエンテーション（大島） わが国の障がい者福祉施策の変遷（中村）	わが国の障がい者福祉施策の視点について理解する
2	障がい者スポーツ施策と障がい者スポーツ その2	障がい者の生活実態と障がい者スポーツ（中村）	障がい者の生活におけるスポーツの意味を理解する
3	障がい者スポーツの意義と理念 その1	障がい者スポーツにおける基本理念（渡邊勝平・ゲストスピーカー・実務家）	基本理念の内容について理解する
4	障がい者スポーツの意義と理念 その2 全国障がい者スポーツ大会	全国障がい者スポーツ大会の概要（亀田信樹・ゲストスピーカー・実務家）	全国障がい者スポーツ大会について、調べておく
5	（公財）日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度	障がい者スポーツの意義と社会的効果と（公財）日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度について（渡邊勝平・ゲストスピーカー・実務家）	スポーツ指導者制度について調べておく
6	安全管理	障がい者スポーツ現場における安全管理と救急措置（石橋）	安全管理と救急措置の手順について、再度確認する
7	障がい者の理解とスポーツ その1（身体障がい①）	身体障がい者の種類と特徴 肢体不自由（脳性麻痺・脊髄損傷・切断・脳血管障がい）、視覚障がい、聴覚障がい、内部障がい（久田）	身体障がい者の種類と特徴を理解する
8	障がい者の理解とスポーツ その2（身体障がい②）	身体障がい者（前回学んだ種類と特徴に基づく）のスポーツとその工夫（久田）	身体障がい者のスポーツとその工夫の着眼点を理解する
9	障がい者の理解とスポーツ その3（知的障がい①）	知的障がい者の種類と特徴（丸山）	知的障がい者の種類と特徴を理解する
10	障がい者の理解とスポーツ その4（知的障がい②）	知的障がい者のスポーツとその工夫（丸山）	知的障がい者のスポーツとその工夫の着眼点を理解する
11	障がい者の理解とスポーツ その5（精神障がい）	精神障がいの種類と特徴およびスポーツの効用（中村）	精神障がいの種類と特徴およびスポーツの効用を理解する
12	障がいに応じたスポーツの工夫・実施 その1	障がいに応じたスポーツの工夫（長井庄吾・ゲストスピーカー・実務家）	障がいに応じたスポーツの工夫の着眼点を理解する
13	障がいに応じたスポーツの工夫・実施 その2	最重度障がい者のスポーツの実際（長井庄吾・ゲストスピーカー・実務家）	実技を通じて、障がい者スポーツの特徴を理解する
14	障がい者との交流 その1	障がい者との交流事例と効果 その1（久保里司・ゲストスピーカー・実務家）	障がい者との交流を通じて、スポーツの効果を確認する
15	障がい者との交流 その2	障がい者との交流事例と効果 その2（久保里司・ゲストスピーカー・実務家）	障がい者との交流を通じて、スポーツの効果を確認する